

平成30年12月3日



# 書セキ鈴 ~第8号~

旭川実業高等学校 図書館だより



発行者：図書局

本年度第3弾の新作図書です。図書局員がそれぞれの本を紹介します。

冬休み期間中の貸出は1人3冊までです。12月12日(水)より長期貸出スタートです。

タイトル	著者
<b>送り火</b> ＜第159回芥川賞受賞作品で、親の転勤のため東京から東北の田舎へ越してきた中学生の主人公。人間の本能を書いた作品です。＞	高橋弘希
<b>ファーストラヴ</b> ＜環菜は、なぜ父親を殺したのか・・・ 臨床心理士の由紀が弁護士迦葉とともに彼女に向き合い、真実を探るお話です。＞	島本理生
<b>神さまたちの遊ぶ庭</b> ＜「羊と鋼の森」を書かれた宮下奈都さんの最新作になります。トムラウシで1年間の生活のエッセイです。＞	宮下奈都
<b>1日1ページ、読むだけで身につく世界の教養365</b> ＜今まで知らなかった世界の歴史が1日で1ページ読むだけで必ず一つは覚えられる本です。＞	デイヴィッド・S・キダー (著), 他
<b>名犬チロリ 日本初のセラピードッグになった捨て犬の物語</b> ＜ゴミ捨て場に捨てられていた犬が拾われて人間の弱った心と体をなおすセラピードッグとして活躍するまでになった「チロリ」の物語です。＞	大木トオル
<b>学校図書館の可能性: 自ら考え、判断できる子どもを育てる</b> ＜子どもの成長・発達を支える学校図書館とは?＞	渡邊重夫
<b>生きるように働く</b> ＜毎月10万の人が閲覧する求人サイトを運営している著者が書く。求人であ会った人たちが芽をだし、枝を伸ばして一本の木に成長していくまでのお話。＞	ナカムラケンタ
<b>一緒に冒険をする</b> ＜約10万人のゲストと交わした働き方・暮らし方未知のものへ向かう楽しさをめぐるインタビュー集です。＞	西村佳哲
<b>自分をいかして生きる</b> ＜いい仕事とは何か。働くことを通じて何をしているのかを教えてくれる一冊＞	西村佳哲
<b>自分の仕事をつくる</b> ＜さまざまな『いい仕事』の現場を訪ねた貴重な記録。働き方が多様になってきた時代に必要な一冊＞	西村佳哲

<b>ピンポン (エクス・リブス)</b> ＜いじめられている中学生男子が、人類の運命を決める!＞	パク・ミンギョ (著) 斎藤 真理子 (翻訳)
<b>カステラ</b> ＜前世であっけない死に方をした男が冷蔵庫になった。その冷蔵庫と冷蔵庫の持ち主である主人公の物語です＞	パク・ミンギョ (著), 斎藤 真理子 (翻訳)
<b>キミのお金はどこに消えるのか</b> ＜原価数十円の紙に一万円の価値があったりその価値も1分1秒ごとに安くなったり高くなったりそんなお金の不思議をのぞいてみませんか?＞	井上純一
<b>たたかうきみのうた</b> ＜日本最北の地で日々小さな命と向き合う小児外科医。その診療現場と日常生活に舞い降りたほっこり心温まるエピソードになっています。＞	宮本和俊
<b>たたかうきみのうたII いつか、未来へ</b> ＜前作の続きです。30年間を超える勤務の中で、いち小児外科に舞い降りた、様々な「命」のエピソードです。＞	宮本和俊
<b>世界地図の下書き</b> ＜両親を事故で亡くし心を閉ざした小学生が仲間たちとの日々で心を開き子どもたちが立ち向かうそれぞれのその先の現実と一握りの希望を新たな形で描きだした渾身の長編小説です。＞	朝井リョウ
<b>おもしろい!進化のふしぎ 続々ざんねないきもの事典</b> ＜身近な動物から少し珍しい動物のいろいろ不思議な生態を知ることができます。＞	今泉忠明
<b>眠れなくなるほど面白い 図解 微分積分</b> ＜難しいイメージがある微積分の事が面白くかいてあります!!＞	大上丈彦
<b>もの言えぬ時代 戦争・アメリカ・共謀罪</b> ＜大きく揺れ動いている世界の在り方... そこに生きる人間の生きることへの考え＞	内田樹 他
<b>カレーライスを一から作る</b> ＜みんなが、あたりまえのように食べている「カレーライス」。その材料—野菜、スパイス、お肉、お米、塩、そして器とスプーンを。すべてを「一」から作った、9か月間の記録です。＞	前田亜紀
<b>夜の歌</b> ＜なかにし礼の自伝的小説。満州からの「兄弟」での逃避行、手術、穿破。ここから始まる深い感情。＞	なかにし礼
<b>星夜航行 上巻</b> ＜三河を二分した内乱の時、父が徳川家に弓を引いたため逆臣の遺児として農村で人との交流を絶って暮らしていた沢瀬甚五郎は、祖父より剣や騎馬術、鉄砲術などを叩き込まれていた。傑出したその才覚は家康家臣の知るところとなり、家を継ぐため、徳川三郎信康の家来に取り立てられた。＞	飯嶋和一
<b>星夜航行 下巻</b> ＜秀吉の明国と朝鮮への野望はだれにも止められない。小西行長ら秀吉吏僚の隠蔽工作は国と民を泥沼の地獄へと導く。＞	飯嶋和一
<b>大谷翔平 野球翔年 I</b> ＜一人の少年の進化、「バッターとピッチャーってどっちもできないのかね笑」「先入観は可能を不可能にする。」思いの交錯と、苦悩を描く。＞	石田雄太

<b>下町ロケット ゴースト</b> <もの作りの神様宇宙から大地へ。>	池井戸潤
<b>有名すぎる文学作品をだいたい10ページの漫画で読む。</b> <みなさんが誰でも知っている有名な文学作品「人間失格」や「注文の多い料理店」などがマンガで読めます。>	ドリヤス工場
<b>必修すぎる文学作品をだいたい10ページの漫画で読む。</b> <みなさんが学校で絶対に習ったことのある作品がマンガになっているので、簡単に読むことができます。>	ドリヤス工場
<b>定番すぎる文学作品をだいたい10ページの漫画で読む。</b> <夏目漱石の「坊ちゃん」やアンデルセンの「人魚姫」など、日本に限らず世界的な作品もマンガになっています。>	ドリヤス工場
<b>未来職安</b> <この本は色々「未来」について考えている本です。「未来医療」や「未来家族」などさまざまな未来が書かれています。>	柞刈湯葉
<b>横浜駅SF</b> <高校ビブリオ2017のチャンプ本!! Suika を脳に埋めこまれた人間が管理されるエキナカ社会とそれ以外の社会の長い長い物語>	柞刈湯葉
<b>重カアルケミスト</b> <平凡な大学生の、無謀な挑戦が始まる!>	柞刈湯葉
<b>ヤングケアラー—介護を担う子ども・若者の現実</b> <その社会にとっての「当たり前」当たり前は変わっていく。>	澁谷智子
<b>ごみ収集という仕事: 清掃車に乗って考えた地方自治</b> <ごみ収集車の歴史や、ごみがないという感謝が伝わる本です>	藤井誠一郎
<b>「イノベーターのジレンマ」の経済学的説明</b> <技術の世代交代とともにトップ企業の顔ぶれも移り変わってゆく「創造的破壊」のプロセス。新技術が興隆し、新参企業が次々に飛び込んでくる状況において、既存企業は「進むも地獄、退くも地獄」の難しい決断を迫られる。>	伊神満
<b>日中戦争全史 上巻</b> <戦争には「前史」と「前夜」がある。日本の戦争指導者たちが踏み越えていった、数々の「point of no return(戦争回避不能な段階)」とは何か—日中戦争研究の第一人者による集大成!>	笠原十九司
<b>日中戦争全史 下巻</b> <日中戦争とは何だったのか 100万の日本軍が送り込まれた中国戦場で何が行われたのか—日本人の欠落した歴史認識を埋める、日中戦争とアジア太平洋戦争の全体像を描いた労作!>	笠原十九司
<b>よみがえる戦時体制 治安体制の歴史と現在</b> <国家の暴力装置たる警備公安警察等の権力の恣意的な運用を抑止、是正するために必要なのは何か。戦前の治安維持法、特高警察など治安体制の専門家が戦時体制の歴史をふまえ、現状分析したのが本書である。>	荻野富士夫
<b>手塚マンガで憲法九条を読む</b> <マンガ作品、独特な絵のタッチが世界に引き込む。>	手塚治虫(著)

<b>ディス・イズ・ザ・デイ</b> <題名ではわからないがサッカーの物語。これを見たらきっとサッカーに興味をわく物語です>	津村記久子
<b>子どもの貧困 未来へつなぐためにできること</b> <日本の子供の7人に1人は貧困。連鎖を断ち切り、すべての子供が夢や希望を持てるための重要な一冊!>	渡辺由美子
<b>古生物のサイズが実感できる! リアルサイズ古生物図鑑 古生代編</b> <大昔に存在した古生物を実際のサイズにして載せた本です。さまざまな時代のさまざまな古生物が現代の身近な風景に配置されていてとても面白い図鑑です。>	土屋健
<b>オオカミと野生のイヌ</b> <色々な種類のオオカミやイヌの美しい写真や、生態について載っているので、イヌ好きの人にぜひ読んで欲しい本です。>	近藤雄生(著), 澤井聖一(著)
<b>世界を変えた100の化石 (大英自然史博物館シリーズ 1)</b> <地球を語り、生命史を語る化石を時代ごとに見ていく>	ポール・D・テイラー(著), 他,
<b>秘蔵写真200枚でたどるアジア・太平洋戦争: 東方社が写した日本と大東亜共栄圏</b> <第二次世界大戦中の日本や、日本占領下の各国・各地域の社会情勢の激動を、国民の生活を、カメラマンの目線で見ていく。>	井上裕子
<b>あの家に暮らす四人の女</b> <4人の女が暮らす牧田家で起こる楽しい日々心に巣くった孤独をほぐす同居物語>	三浦しをん
<b>0能者ミナト 1~11</b> <科学が隆盛を極める時代で、片隅にひっそりと息をする異形のもの「怪異」がいた。当然、怪異を相手にしている生業がある。その中でひととき変わった青年がいた。>	葉山透
<b>アイヌ文化と森—人々と森の関わり</b> <アイヌ人の樹木の利用法や人々の森との関係など、アイヌ文化に関する入門書>	手塚薫(著), 出利葉浩司(著)
<b>今も生きるアイヌ建築—アイヌ建築の姿 復原建築写真集</b> <アイヌの人々が北海道の厳しい環境にも耐えた建築物を紹介する>	小林法道
<b>思い出が消えないうちに</b> <デビュー作の「コーヒーが冷めないうちに」で、2017年で本屋大賞にノミネートされた川口俊和の最新作>	川口俊和
<b>世界で一番美しい化学反応図鑑</b> <元素三部作の待望の三冊目である本書では、分子が反応の中でどのように生命を動かしているかについての話が展開します。>	セオドア・グレイ(著), 武井摩利(翻訳)
<b>愛なき世界</b> <主人公の藤丸は、植物学者の木村に恋をしたが、彼女は三度の飯より葉っぱが好き! 人生のすべてを植物に捧げる木村に、藤丸は『恋の光合成』を起こせるのか!>	三浦しをん

12月にクリスマスイベント開催予定! 詳細については、ポスター掲示します。

